

■市川團十郎(2世) 歌舞伎役者。現代まで続く團十郎のパターンと市川宗家を確立した。

いちかわだんじゅうろう

日本永代蔵・1688＝ その頃、江戸劇壇の最高位と評されていた\_初世の長男に生まれる。

芭蕉+師宣没 1694＝ 6歳：父の京都公演のため、母とともに従う。

生類憐令頂点1695＝ 7歳：

・・・・・・ 1697＝ 9歳：中村座の「兵根元曾我」で\_初舞台。

團十郎刺殺・1704＝16歳：\_父が楽屋で刺殺されるという悲劇の中で、**團十郎を襲名。**

力不足で悩むが、当時の名優生島新五郎に庇護され、

・・・・・・ 1706＝18歳：

その頃の歌舞伎は穢多頭弾左衛門の支配下に置かれていたが、

辻つ拘束・1708＝20歳：小林新助の訴えにより、江戸町奉行は歌舞伎と傀儡師の支配権を弾左衛門から剥奪。被差別民からの独立を果たした喜びから、小林が記録した訴訟の顛末を元に「勝扇子」を著し、代々伝えたという。

徳川綱吉没・1709＝21歳：

\_容貌も体格も父に似ており、芸熱心だったので、めきめきと腕を上げ、

冥途の飛脚・1711＝23歳：のちの四代目誕生。

和漢三才図会1713＝25歳：\_山村座「花館愛護桜」で「助六」を初じめて勤めたころから、**名声を高め**

絵島事件・・ 1714＝26歳：山中平九郎と競演し、\*「暫」の演出を完成。江島生島事件にあっても軽い処分であれ、江戸劇壇における**市川團十郎のゆるぎない権威を確立した。**

国姓爺合戦・1715＝27歳：

徳川吉宗將軍1716＝28歳：\_「助六」に和事味を加えて一新。

御蔭参流行・1718＝30歳：「外郎」初演。

小石川葉園・1721＝33歳：この年生れたのちの三代目を養子にする。**\*給金千両となり、「千両役者」と呼ばれる。**

早くから父の才牛という俳名をついで、俳諧や狂句をたしなみ、文人との交際が広がった。

其角の弟子になって俳名を三升と改めた。

近松没・・ 1724＝36歳：

・・・・・・ 1727＝39歳：「押戻」初演。

梅岩心学始・1729＝41歳：「矢の根」初演。

享保大飢饉・1732＝44歳：

・・・・・・ 1733＝45歳：\_子(のちの三代目)との掛合セリフが大評判となる。

昆陽蕃蕃考・1735＝47歳：\_團十郎を三代目に譲り、2世市川海老蔵を襲名。俳名三升を栢莖と改める。

ワッ船出没始 1739＝51歳：「景清」初演。

・・・・・・ 1740＝52歳：「七ツ面」初演。

・・・・・・ 1741＝53歳：のちの五代目が誕生。大坂で三代目と出演、\_2000両の高給をとる。

公事方御定書1742＝54歳：**\*さらに「毛抜」初演し、前代未聞「極上上大吉無類」の最高位付けを受けるが、三代目が急死。**

徳川吉宗隠居1745＝57歳：

義経千本桜・1747＝59歳：\_沢村宗十郎、瀬川菊之丞といわゆる3000両の顔見せ競演。

・・・・・・ 1749＝61歳：\_三度目の「助六」を演じ、今日見るスタイルの原型を完成させた。

・・・・・・ 1750＝62歳：母が死去。日記「老のたのしみ」成る。

徳川吉宗没・1751＝63歳：

山脇東洋解剖1754＝66歳：\_改めて門弟の二代目松本幸四郎を養子として團十郎を継がせる。「矢の根五郎」を演じて大当たりし、

宝暦事件・・ 1758＝70歳：\_没した。

「栢莖狂句集」などの著がある。